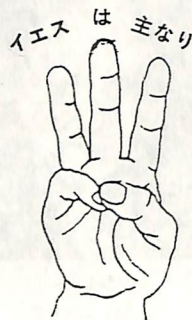


日本クリスチャン・アシュラム連盟



# 日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 '93 5.1 85



## みことばに生きる

松原 向

「ところが、その聞いたみことばも彼らには益になりませんでした。みことばが、それを聞いた人たちに信仰によって結びつけられなかったからです。」  
(ヘブル四・一二)

「彼ら」とは旧約時代、折角エジプトから出たが約束の地に入らず、荒野で滅んでしまった人たちの事で、神のこ

とばを聞いて信じ従ったヨシュアやカレブと違って、みことばを聞いても信仰によってそれに結びつけられなかった人達の事でした。信仰とは、神の力知恵、いつくしみに対する絶対的な信頼と確信とを以って、自分の全人格を神に委ねる事であります。

それは現在の私達にも当てはまりません。年度が改まり、入学・進学・就職・人事異動、或いは結婚、教会内の新しい奉仕の場へ等と、何らかの新しい進路に直面する時だと思えます。

そればかりか私達は屢々どうしたらよいかと迷ったり、夜も寝られない様な困難に遭遇したりします。でも有難い事に神様はみことばをもって導いて

下さるのですから私達はまず祈り、待ち望むのです。戸を閉じて隠れた所におられる神に祈るのです。戸を閉じてとは、人の声、自分の思いを横に置いて、神の前に出ることです。何故なら神の世界は2+2=4ではなく、20にも50にもなるからです。祈って聞いたみことばを自分に結びつけて行く時に神の働きが表われるのです。

私の知っていた一人の青年(もうそれは四十数年も前になりますが)は実に神様だけを見上げ、聖書をいつも小脇にかかえ、真剣そのものの顔つきで「聖書にはこう書いてあります」とどんな質問にも答えて居られ、気持ちのよい程スカーツとした青年で全くみことばの中に生きて居られました。彼は主の愛にいつも包まれていました。

アブラハムも「行け」との召しの声を受けた時、行く所を知らずに出て行きました。又、ひとり子イサクを神に言われた通り献げました。モーセは王の怒りを恐れないでエジプトを立ち去りました。目に見えない方を見るよ

うにして忍び通したと、ヘブル人への手紙の記者は記しています。五つのパンと二匹の魚しか持ち合わせてなかった時、主は「あなたがたの手で彼らに食べさせなさい。」と弟子達に命じられました。困惑する弟子に「それをここに持って来なさい。」と仰せられ、それが主の手に渡されると、男だけで五千人を養って余りある結果となりました。

本当の信仰生活とは主が語られたみことばに素直に従う生き様です。私達の為に三十二年間此の地上を歩かれ、あらゆる所を通して下さった大祭司なる主イエス様が、私達の弱さや愚かさを助けようと、恵みのみ座を設けて待っていて下さいます。このお方にすぎりみことばに従って参りましょう。

活けるキリスト  
名古屋一麦教会牧師





スタンレー・ジョーンズ コーナー

ビデオ「神の漁り人、スタンレー・ジョーンズ」(3)

このビデオ「サト・タルのアシュラム」の語りの部分を二、三回に分けて掲載します。

この「言は肉体になつた」という言への私達の信仰は、「言は肉体になつた」と言う表現にならざるを得ないのです。

「米国が」、(不完全な人間のことですから不完全であります)私達の間に実現されているのを見なければなりません。その答えを見つげ出そうと努めるのではなく、自らがその答えになりましょう。自らが実現され、普遍化された答えになりましょう。

そうするためには、私達の中にある障壁を崩さなければなりません。米国とは神が私たちの中に侵入することなのです、それを妨げるのが障壁です。私たちの間に階級という障壁がありません。み国は階級のない社会です。人種

の差別もありません。すべての階級、すべての人種を主にあって一つにしましょう。主イエスはすべての人のために死なれたのです。

それから肩書きのある人となない人がいます。肩書きのある人が上の階級で、ない人は下の階級と見られています。肩書きは家の戸口に置き去りしましょう。監督も、医者も、教授も、裁判官もなくなり、ただの花子姉妹、太郎兄弟になります。これは心理学的に人間関係を平等にすることになります。

名字でなく、名前と呼ばれて、偉そうに構える人はいません。主イエスが「父は一人で、皆は兄弟姉妹である」と言われたので、私達は兄弟であり、姉妹なのです。中には「〇〇兄弟」と呼ばれて、ショックを受ける人がいます。もし兄弟姉妹のように感じないなら、その呼び方をしないで下さい。ただ心からそう思えて、それが自然に口を突いて出るようになることを期待しているのです。

それから教派の相違という障壁があります。あなたがどういう教派、どういう教団から来たのか話して戴きたいのです。あなたの霊的生活の出発点について話して下さい。それに就いては感謝しますが、それはイエス・キリストの足元に置き去りしましょう。それから年齢の障壁があります。若い人と高齢者との間の年代の差です。

同じ集會に若い人と年輩の人とが居ますのでその差を克服するため、お互いに自分のもつ問題を話し合います。最も重大な障壁は私の内部にあります。恐れ、反感罪責感、劣等感などの障壁が神と私達とまた私達同志の間にあるのです。これらの障壁を取り除きましょう。

「どうして、ここへ来たのですか」、「何を望んでいますか」、「本当に必要としていることは何ですか」との問いに答えて、あなたのニードを話します。でも間違えないで下さい。ニードを話さなければならぬという訳ではないのです。言わないからといって、仲間外れになることはありません。

しかしあなたが自分のニードに就いて語らなければ、私達は貧しくなるし、あなたも貧しいでしょう。それに自分のニードを話していなければ、何が自分のニードかを見定めるというニードをもつていくことになるでしょう。

ある婦人が言いました。「アシュラムに来た時、私はニードを語るつもりはなかったのです。そしてスタンレー兄弟が「あなたがニードを話して呉れなければ、私たちが貧しくなるでしょう。あなたも貧しくなるでしょう」と言われました。私はこれ以上貧しくなることはできないので、ニードを話すことにしました。」もう一つ付け加えたいことは、誰か他人のことでなく、自分のニードを語ることでです。

アシュラム生活の最良の友  
アパ・ルーム

海老沢 宣道 編集

(年6回刊行の日々の糧)

国際的、超教派的、霊的な読物  
価250円、72円、年1,932円

発行所(256) 小田原市国府津3-11  
振替口座 (東京) 1-193834 アパ・ルーム

日本語版は創刊以来41年続行中

D.P.タイタス

御国を来らせ給え

訳者 植村 俊雄

'93.1 改訂2版発行

(価300円 72円)

アシュラム聖歌集

編著者 海老沢 宣道

'92.12 3版発行

アシュラムの原則

と実際

—第3版—

海老沢 宣道 著

新書判 52頁 価300円 72円

発行所 日本クリスチャン・  
アシュラム連盟

申込先 東京都目黒区中央町  
1-21-10 大石 嗣郎

振替口座 (東京) 0-4558番

### ◎ 一日アシラムと教会

我々はアシラムがイエス・キリスト中心、教会中心であることを明らかにするよう努めている。我々は人々を教会から引き出し、教会の外の運動に、時間と精力と忠誠心を費やすよう求めているのではない。そうではなく、人々をより良い人、より良い牧者、より良い役員、よりよい会員に造りかえて、教会に戻すよう努めているのである。このために、一日アシラムと言う方法をを用いる。各地域の教会で一日のアシラムを行うが、これに近隣の教会が参加することにより、信仰復興もたらされ、各教会が活性化されるためである。こうしてアシラムは「分化」する運動ではなく、反って「結束」を強める運動となるのである。

(ジョーンズ・上昇の歌二二六)

### 「聖ヨハネによる福音書」を読んで

山田 基男

ハレルヤ。D・Pタイタス著、海老沢訳のこの本を漸く一月末に読み始め三日間で読了。魂の奥に込みこむような本でした。色々なことを教えられ、考えさせられ、信仰の見直しをせまられました。良い本を卒業六十周年記念として贈って頂き感謝しています。お礼まで。(静岡・細江町エデンの園内)

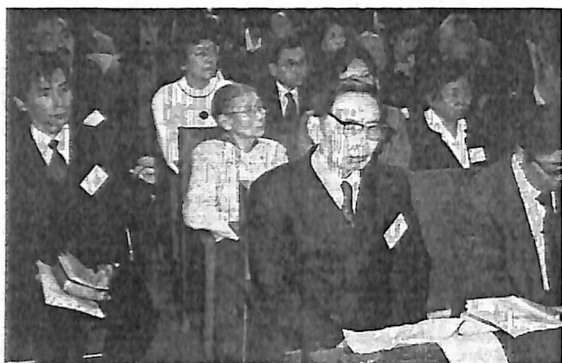
### ◆ 城北アシラムの報告

石井 寛

二月十一日第二十四回城北アシラムは新宿・池の上キリスト教会で守られた。

多くの参加者は東京圏をこえて、遠く鎌倉や伊東から十八教会の人々、七十名が集まり、一同大いに感激した。コロサイ書から「栄光の望み」の主題を掲げ、海老沢師の力強い奨めを受けて開心の時をもった。祈りの細胞では、家族の救い、教会や各自の日々の働きのため、また奉仕のため祈り合うことができた感謝であった。

出席者全員で食事を共にするには手



▲遠くからも集まった城北アシラム

狭な会場ながら、参加者の紹介が和やかにされた。午後、島隆三師の司会で

四十五分の静聴の時をもち、細谷武英師のみ言葉の豊かな説き明し、第二回目の祈りの細胞を経て、充滿の時を横山義孝師に導かれて守ったが、「アシラムは短く切り詰めても三泊四日は必要」(ジョーンズ師)の言葉に納得。主にあつてのすばらしい一日に感謝のかけりなし。ハレルヤ!

(城北アシラムの主催者は池の上キリスト、更生、新宿西、天門の四教会である)

### ◆ ビデオ「神の漁り人」を見て

松山・平松 豊美

去る十一月七日、八日開催の四国アシラムの席上、スタンレー・ジョーンズ師のインドでのアシラムの記録ビデオを見せられました。同師は戦後の荒廃の中に居た私達のために松山に再三お越し下さり、暖かい愛の灯をともして、慰めと励ましを与えられました。その度にアシラムが開かれ、小さな私もそれを待ち兼ねて、胸をわくわくさせながら参加しました。あの頃は世の中が本当に暗く、淋しい時でしたが、幼ない頃に祭りを待っていた時のように心が弾みました。

ビデオを通して、神に召される前の師の穏やかな、霊に満ちた容貌に接し、

懐かしくてたまりませんでした。また師がインドの貧しい方々をどんなに深く愛しておられたかを知り、涙が止まらなく流れ、私達も師の後に続かなければならないと、決意を新たにしました。助言者の先生には、み言葉が私達の内で、肉となり血となるように、しっかりと教えられて感謝でした。

### ◆ 参加者からのお便り

東京・足立区 竹内トミエ

「悔改めて福音を信ぜよ」と開心の時に、助言者から心の中をひとつひとつチェックして頂き、懇ろなご指導を受けたことを感謝しています。

あの一時の恵みのためにだけでも参加して良かったと思っております。「何事をするにも原点を忘れることは危険です」と申されましたが、ジョーンズ師の信仰の原点「自我の明け渡し」を日々心がけたいと願っています。今後ともよろしくご指導下さい。かしこ。

1986年10月改定版

**インド途上のキリスト**

著者 E・スタンレー・ジョーンズ

新訳者 渕江 淳一

発行所 日本クリスチャン・アシラム連盟

振替口座 東京 0-4558

(特価 1,500円と送料 250円)

◎第二回クリスマスチャン・アシュラム・セミナー

来る六月八日(火)十四時~九日(水)正午。山崎製パン箱根山荘にて。

◇開会礼拝(開心の時)海老沢。福音の時、ジョーンズ著「インド途上のキリスト」を委員が分担して読み、読後感を発表する。閉会礼拝(充滿の時)向山。

参加費・宿泊費は無料。旅費は自弁。申込五月二十五日まで。連盟事務所・大石嗣郎宛。

▼バルナバ・アシュラム

五月三日(月)~五日(水)。日野ラサール研修所にて。主題 十字架・聖霊。独立伝道者小池辰雄師を特別招待。聖句コロサイ一・二十七。

申込所 石神 勇 ○二六六一一八 一〇八八。

個人消息

○横山義孝師(関東・委員)四月二日東久留米市野火止に日基督教団・東京新生教会の新会堂を献堂された。○湘江淳一師足指の手術のため一月か

ら入院中のところ三月初め退院された。○高瀬和子姉(聖公会・故高瀬恒徳主教夫人)文京区聖テモテ教会に出席されている。住所・文京区西片二十一六一二一〇一西片住宅。母堂の原田常さんと同居のよし。

アシュラムとは何か? Q & A

(1) 開心とニードに就て

海老沢 宣道

Q アシュラムで開心・ニードに就て語られます。それはどう言うことでしょうか。

A アシュラムの解説は本紙上で二十年程前と数年前に十数回シリーズで述べたことがあり、小冊子「原則と実際」にまとめて出版、好評で三版を発売中です。ですから、それを参考にして頂きたいのですが、過日の編集会議で、年々初心者の参加があることを考え、今回は連盟理事や全国委員に各項目を分担執筆して頂くことにしました。

その第一回の「開心とニード」の項を私が担当することになりました。さてアシュラムとは日常生活から退いて、主の御前に静まり、お取扱いを受ける祈りの道場をさし、創始者S・ジョーンズがインド人から受けた暗示によって名付けました。従ってなるべく教会を離れた会場で、新聞・ラジオ・テレビ・電話などは忘れてひたすら主の御顔を拝し、主との靈交に入るので。

そんな集会ですから、開会礼拝で始める事もあるが、全日程中で最も大切なのは「開心の時」と最後の「充滿の時」です。開心とは主に向って心を開き、主との交わりを妨げている自分の罪や欠点を探り出して告白し、主イエス(マタイ四・17)を始め、ペテロ(行伝二・38)ヤコブ(五・16)も勧めているように悔改めを徹底するのです。初参加の方が直ちにこのような開心と告白するのは困難でしょう。然し参加者は皆何らかの願いを持って来るに違いありません。誰れでも主の御助けを必要(ニード)としているのですから、遠慮なくそれを主に申上げましょう。家族友人の救い、病人のいやし、育児・教育のこと、生活や事業、人間関係など困っている問題を正直に述べて、主の御助けを祈ってもらおうのです。

ここで付加えたいのは、司会者や助言者の良い指導の下でこの開心の時を守る間に、あるいは回を重ねるうちに右のような身辺にかかわる願いごとが段々と高揚・深化されて、ただニードを満たされたいとの祈りではなく、自分の一切を主にお委ねして(詩篇五五・22) 聖霊のバプテスマを受け、「イエスを主」と仰いで、勝利の人生を送る者となることの大切さです。

「だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られ」て(IIコリ五・17)、古き人を脱ぎ捨て、心の深みまで新たにされ(エペ四・22)、キリストの内住を体験(ガラ二・20)する幸いを受ける者とされるのです。開心の時を真剣に

守り、自己中心の願いが聖化されるように祈ります。(アシュラム連盟委員長)

新刊 聖ヨハネによる福音書 一そのインド人への証し

A・ダヤ・プラカシュ・タイタス著 海老沢宣道・飯島庸江 共訳

スタンレー・ジョーンズ師はインド人にはインド人の如き心を以て、イエスは宇宙的な主であると説いた。その志を継いでイエスこそインド東洋思想の完成者であると著者はこのヨハネによる福音書の解説を以て力説している。東洋人必読の書。

1992年1月20日連盟発行 定価1,200円

アシュラムの五大原則

- (一) キリストへの明渡し
- (二) 御言への静聴と立証
- (三) 聖霊の啓導と充滿
- (四) 教会への奉仕と伝道
- (五) 神の国の体験と献身

東京都目黒区中央町1-21-10

日本クリスチャン・碑文谷教会会館付

振替口座東京〇一四五五八番

理事長 海老沢宣道

編集人 白川五郎

発行人 石川宣道

定価 一部60円 二部62円